

【ダイジェスト版】 充電インフラ普及拡大に貢献する EV 利用シーンの多様化に対応した 15kW 中容量急速充電器

1 背景および本製品の役割

近年、ガソリン車から電気自動車（以下、EV）へのシフトが世界的に進んでいる中で充電インフラの整備が遅れていることもあり、充電インフラの普及拡大が課題となっている。

EV の充電は、自宅などで行う『基礎充電』、移動途中に行う『経路充電』、滞在先で行う『目的地充電』に大別され、滞在時間が数時間の目的地充電においては、50kW 以上の急速充電器の場合、30 分後には次の利用者のために EV を移動させる必要が生じる。また、50kW 以上の急速充電器を複数台設置するには、電源設備の増強や、設置場所の確保などの制約が生じる。

そのような充電インフラの普及拡大への課題に対応すべく、普通充電と急速充電の中間領域となる 15kW 出力の中容量急速充電器を新たに製品ラインナップに加えたので紹介する。

2 主な仕様と利用イメージ

本器は東光高岳の急速充電器において、最小サイズとなる。本体の厚さは業界最薄の 200mm を実現し、事業所や工場、ビルなどにおける限られたスペースにも設置可能となる。本器の標準仕様を表 1 に、壁掛けや自立での利用シーンを図 1 と 2 に、ディスプレイ操作のイメージを図 3 に示す。タッチパネルを使用することで、簡単に操作することができる。



図 1 壁掛け設置での利用シーン



図 2 自立設置での利用シーン

表 1 標準仕様

型式	HFR1-15B11
入力	三相 3 線 AC 200 V, 50/60 Hz
出力	DC 150~450 V, 0~37.5 A, 15 kW
効率	92%以上（定格入出力にて）
充電ケーブル	22 mm ² タイプ、ケーブル長 5 m
保護等級	IP44
周囲温度	-10~+40℃
周囲湿度	30~90%（結露なきこと）
設置方法	壁掛け
CHAdemo ^{※1)}	Ver2.0



図 3 ディスプレイ操作のイメージ